



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年07月22日 第1226号「週刊五十嵐レポート」

## 離職率の低い会社とは

7月17日付日経新聞、「小さくても勝てる」は「社員一丸なら若手やめず」。

多くの企業が社員の退職に頭を悩ませるなか、一部の中小企業は独自の工夫で社員の離職を防いでいる。若手や中堅社員は「自分の成長を実感できる仕事の進め方」「社員一丸で課題に向き合う社風」を、“やめない”理由に挙げる。

厚生労働省の2024年のデータによると、21年3月卒就職者の就職後3年以内の離職率は38.4%と前年度より1.4ポイント上がった。従業員1000人以上の企業は3年以内に大卒の28.2%が辞め、30～99人の企業では42.4%が辞める。規模の小さい企業ほど離職率が高い。

陽和(北九州市、従業員117人)は1999～2025年に大卒、高卒を中心に29人を新卒採用し今も27人が働く。離職率は6.9%。「やめない経営」を実践。1人の社員が1週間休んだ時、生産ラインを止めた経験が転機になった。熟練者に一部の業務を頼っていたため、代役を果たす社員がいなかった。数年かけて業務別の「手順書」を一つずつ作成した。生産などの現場作業は動画を共有した。勘やコツと呼ばれるポイントをなるべく数値化して説明する。社員が互いの仕事をカバーし合える職場に改めた。社員が自分の望む時期に気兼ねなく休めるようになった。有給休暇や育児休暇の取得率は90%を超える。休みやすい職場が離職率を抑える最初の一步。

帝国データバンクによると、2023年8月期売上1,881、経常利益319、1人当たりの経常利益2.7、自己資本1,444、総資産2,281(単位:百万円)(自己資本比率63.3%)。同社は、オンリーワン技術を持ち、高付加価値の製品作りで高収益企業。

1. 強いもの作り。高付加価値商品。高収益企業。2. 業務の標準化。業務の手順書(マニュアル)作成。手順書を使って教育と訓練。生産性の向上。3. 人間関係能力を高める。自発性。

働きやすい職場になり、休みやすい職場になっていく。結果、離職率が低下する。まずは企業が健全経営をしていることが前提。

ちょっと  
気になる出来事

7月15日付日経新聞、「LINEヤフー、AI活用義務化」という記事。

LINEヤフーは、業務での生成AI(人工知能)活用を義務化した。全従業員約11,000人を対象。業務の3割を占める「調査・検索」「資料作成」「会議」等の共通領域から着手、具体的な社内活用ルールを策定。業務効率の向上を図る。生成AIの活用を前提とした働き方に変え、従業員がより創造的な新しい挑戦に集中できる環境を整備し、イノベーションの創出を図る。

7月8日付日経新聞、「パナ系、AIで業務45万時間削減」という記事。

パナソニックホールディングス傘下のパナソニックコネクは、社内で活用する生成AIで2024年度に業務時間を約45万時間削減したと発表。2023年2月より生成AIの業務利用を「1. 業務生産性向上2. 社員のAIスキル向上、3. シェアードAI利用リスクの軽減」の3つの目標を掲げ、全社員約11,600人にAI活用を推進。活用方法が「聞く」から「頼む」へシフトしたことに加え、生成AI技術の進化により画像やドキュメントの活用が進んだことが要因。

生成AIって、「何？」から活用へ。「聞く」から(仕事を)「頼む」へ。



一口メモ  
知識

## 仁とは 2

弟子の仲弓(ちゅうきゅう)が「仁とはどういうことですか」と訊いたんで、彼は政治家志望だから、

「いったん家を出たらだれに対しても国賓に会うように丁寧に接し、国民を使役する際には、国家の大祭を執り行うようにうやうやしく扱う。自分がしてもらいたくないことは決して人にもしない。そうすれば、公的生活でも私生活でも人に怨(うら)まれずにすむよ」と教えてやったよ。

仲弓は「分かりました。およばずながら、おことば通り実行します」と言っていたがね。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

